

イノシシ被害対策について

平成30年3月

銚子市の西部地区の広範囲にわたって、イノシシによる農作物の被害が出ています。市では、被害対策に取り組むため猟友会、農業団体、地域、行政等で構成する「銚子市有害鳥獣被害対策協議会」と連携し、箱わな設置やイノシシ被害対策勉強会の開催、電気柵設置費補助などを行っています。

※ 電気柵設置を補助します

- 農作物被害を防止するため農地に電気柵を設置する場合、10アール当たり13,000円を補助します。

詳しくは、事前にご相談ください。

電気柵は正しく使いましょう。

イノシシ用：地上20cm, 40cmの二段張り

◎ イノシシ対策について

1. 捕獲のため箱わなを設置しています

- 現在、長山町、猿田町、岡野台町、小浜町などに箱わな15基を設置しています。

今後も増設していきますので、足跡や農作物被害があった場合は、ご連絡ください。

生息区域が把握でき、箱わな設置など対策につながります。

箱わなの設置場所の提供や、わなの見回り・エサやりにご協力ください。

2. 餌付けをしない

- 野菜残さを畑等に放置すると無意識に餌付けしていることとなります。困って見えないようにするなど注意しましょう。

ダイコン等好んで食べないものでも、虫を目当てにイノシシが近寄ります。

- イノシシの餌付けは、頻繁に出没させることになり、人を見ても逃げない原因にもなります。

子どものイノシシであっても、エサを与えないでください。



- 藪や繁みはイノシシの隠れ家となります。出来るだけ刈りましょう。



イノシシ対策は、地域が一体となって対策に取り組むことが被害を減らすことにつながります。

3. イノシシと遭遇した場合

イノシシは、臆病な動物で人を積極的に襲うことはありません。
もし、イノシシと出会ってしまった場合は、落ち着いて行動してください。

- 対応は
- ・向き合ったまま、ゆっくりと距離を取りましょう。
 - ・刺激を与える行為はしない。

※してはいけないこと（イノシシを興奮させ危険です）

- 急に走って逃げる、大声を上げる、
- 石などを投げつける、犬をけしかける など



毛を逆立てる・キバを鳴らすなど興奮したイノシシと出会ってしまった場合は、イノシシから見えない場所や高所などに避難して下さい。

◎ ご配慮をお願いします

※ たい肥は適切に取り扱しましょう

◇ 農地へのたい肥の投入は、適切に行わないと悪臭や害虫発生の原因となり、周辺の迷惑となりますので、次の点に注意してください。

- ・たい肥は、十分に発酵させた悪臭のない「完熟たい肥」を使いましょう。
- ・たい肥を投入したらすぐにすき込みしましょう。やむを得ず畑などに堆積する場合は、悪臭などを防ぐためブルーシートなどで上下を覆いましょう。
- ・たい肥の過剰投入は地下水汚染の原因になりますので、適量を心がけましょう。

※ 農薬散布は周囲に注意しましょう

◇ 樹木への農薬散布で子どもへの健康被害がありました。

周囲への事前の周知不足や実施時間を考慮していなかったことなどから発生したものです。

農業においても、住宅地が近い場合は時間帯や風向きなどに注意が必要です。また、近くの作物に飛散し農薬残留基準を超過する可能性もあります。農薬の散布や取り扱いには、十分に注意して下さい。